

用語解説

(頁数は用語が最初に出てくる頁を示す)

あ行

○ インフラ資産 (P8)

道路、鉄道、港湾といった産業基盤や、住宅、公園、学校など生活基盤を形成する施設の総称。

か行

○ 緊急輸送道路 (P20)

阪神・淡路大震災を教訓とし、地震直後から発生する緊急輸送を円滑かつ確実に実施することを目的として、各都道府県において策定された『緊急輸送道路ネットワーク計画』のなかで設定された路線で、役割に応じ、1次から3次までが設定されている。

○ KPI (P39)

Key Performance Indicator の略称。日本語では「重要業績評価指標」と表現する場合もある。設定した目標に対して、どれくらい目標が達成できているかを数値化するための指標。

○ 減災 (P1)

災害時、被害を皆無にすることは不可能という前提に立ち、起こりうる被害を最低限にとどめ短期化しようとする防災の取組。

○ 洪水浸水想定区域 (P6)

水防法に基づき、想定し得る最大規模の降雨により洪水予報河川及び水位周知河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域。当該氾濫の際に浸水した場合に想定される水深、浸水継続時間や、当該河川の洪水防御に関する計画の基本となる降雨により当該河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域等と併せて公表される。

○ コールドチェーン (P57)

生鮮食料品等を、生産地から最終消費地まで低温状態で一貫して配送する物流方式。

○ 国土強靱化 (P1)

「国土強靱化基本計画」における国土強靱化とは、事前防災及び減災その他迅速な復旧復興並びに国際競争力の向上に資する国民生活及び国民経済に甚大な影響を及ぼすおそれがある大規模自然災害等に備えた国土の全域にわたる強靱な国づくりのこと。

○ こども支援チーム (P49)

大規模災害発生時に、広島県災害時公衆衛生チームや 災害派遣精神医療チーム (DPAT) 等と連携して、精神科医、小児科医などを中心に子供の心のケアを行うことを目的に活動するチームのこと。

○ 個別避難計画 (P54)

避難行動要支援者ごとに、災害時に備えて災害種別ごとの危険性や立ち退き避難の要否、避難場所や避難経路、避難支援者や緊急時の連絡先等具体的な避難方法を記した計画。

さ行

○ サプライチェーン (P18)

原材料の調達から生産・販売・物流を経て最終需要者に至る製品・サービス提供のために行われるビジネス諸活動の一連の流れ。

○ 山地災害危険地区 (P33)

山地に起因する土砂災害（山腹の崩壊、地すべり、崩壊土砂の流出）により、公共施設又は人家等に直接被害を与えるおそれのある地区。

○ GIS (P46)

GIS (Geographic Information System) は地理的位置を手がかりに、位置に関する情報を持ったデータ（空間データ）を総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術。

○ 自主防災組織 (P24)

地域住民が自主的に連携して、平常時には防災訓練や広報活動、災害時には初期消火、救出救護、避難誘導、避難所への給水給食活動などの防災活動を行う組織。

○ 指定緊急避難場所 (P53)

災害の危険から命を守るために緊急的に避難する場所。土砂災害、洪水、津波、地震等の災害種別ごとに指定される。

○ 指定避難所 (P19)

災害の危険があり避難した住民等が、災害の危険がなくなるまで必要な期間滞在し、または災害により自宅へ戻れなくなった住民等が一時的に滞在することを想定した施設。

○ 小規模崩壊地復旧事業 (P59)

人家裏等の小規模な荒廃林地の復旧、または荒廃のおそれのある林地の予防を行う事業。人家2戸以上に直接被害を与え、または与えるおそれがあると認められる林地が対象。

○ 消防団 (P20)

消防署と共に火災や災害への対応、予防啓発活動等を行う、消防組織法に基づいた消防組織。

○ スマートコミュニティ (P52)

家庭やビル、交通システムを IT ネットワークでつなげ、地域でエネルギーを有効活用する社会システムのこと。

○ 性的マイノリティ (P51)

性的指向又は性自認における少数者を表す総称。LGBT を含む「性的少数者」「セクシュアル・マイノリティ」のこと。

た行

○ 大規模盛土造成地 (P20)

谷や沢を埋めた盛土造成地のうち、盛土の面積が 3,000 m²以上のもの、又は傾斜地盤上に盛土した造成地のうち、盛土する前の地盤面の水平面に対する角度が 20 度以上、かつ、盛土の高さが 5m 以上のもの。

○ 男女共同参画 (P28)

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意志によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべきこと。

○ DPAT (災害派遣精神医療チーム) (P49)

精神科医師、看護師、事務職員等数名で構成され、自然災害、航空機・列車事故、犯罪事件などの大規模災害等の後に被災者及び支援者に対して、精神科医療及び精神保健活動の支援を行うための専門的な精神医療チーム。

○ DMAT (災害派遣医療チーム) (P49)

医師、看護師、業務調整員で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場において、急性期 (おおむね 48 時間以内) から活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チーム。

○ 土砂災害危険箇所 (P24)

警戒避難体制を構築し土砂災害による被害を防止するため、昭和 41 年度より国土交通省が調査を開始し、公表した箇所のこと。なお、土砂災害危険箇所とは、土石流危険渓流、地すべり危険箇所、急傾斜地崩壊危険箇所の総称。

○ 土砂災害警戒区域 (P6)

土砂災害が発生した場合、住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、警戒避難体制を特に整備すべき土地の区域。

○ 土砂災害特別警戒区域 (P6)

土砂災害警戒区域のうち土砂災害が発生した場合、建築物に損壊が生じ住民の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、一定の開発行為の制限や居室を有する建築物の構造が規制される土地の区域。

は行

○ ハザードマップ (P44)

地域や都市の状況に合わせ、土砂災害や浸水の危険区域、避難場所などを掲載した地図。

○ HACCP (ハサップ) (P57)

Hazard Analysis and Critical Control Point の略称。食品等事業者自らが食中毒や異物混入等の危害要因 (ハザード) を把握した上で、原材料の入荷から製品の出荷に至る全工程の中で、それらの危害要因を除去又は低減させるために特に重要な工程を管理し、製品の安全性を確保しようとする衛生管理の手法。

○ BCP (P29)

BCP (Business Continuity Plan) は、企業においては事業継続計画、行政組織においては業務継続計画と呼ばれる。これは、組織が自然災害などの緊急事態の発生により、組織自らも被災し、利用できる資源に制約がある状況下であっても、中核となる事業の継続あるいは重要業務の早期着手・復旧を可能とするため、優先的に実施すべき業務を特定するとともに、業務の執行体制や対応手順、継続に必要な資源の確保等をあらかじめ定める計画のこと。

○ 避難確保計画 (P41)

要配慮者が利用する施設で定める、水害や土砂災害が発生するおそれがある場合における利用者の円滑かつ迅速な避難の確保を図るために必要な事項を定めた計画。

○ 避難行動要支援者 (P30)

高齢者、障害者、乳幼児等の防災施策において特に配慮を要する者 (要配慮者) のうち、災

害が発生し、又は災害が発生するおそれがある場合に自ら避難することが困難な者で、その円滑かつ迅速な避難の確保を図るため特に支援を要する者。

○ 福祉避難所 (P27)

主として高齢者、障害者、乳幼児その他の特に配慮を要する者（要配慮者）を滞在させることを想定した施設。

○ プライベートクラウド (P53)

企業・組織が自社内でクラウド環境を構築し、社内の各部署やグループ会社に提供するクラウド形態のこと。従来の社内システムのように企業内でシステムを設計・管理できるため、柔軟なサービス設計が可能である。セキュリティ面では、独自のセキュリティポリシーを適用でき強固なセキュリティのもと柔軟に運用することができる。

○ 防災行政無線 (P53)

県及び市町村が「地域防災計画」に基づき、それぞれの地域における防災、応急救助、災害復旧に関する業務に使用することを主な目的として、併せて、平常時には一般行政事務に使用できる無線局。

○ 防災拠点 (P19)

地震等による大規模な災害が発生した場合に、被災地において、救援、救護等の災害応急復旧活動の拠点となる施設。

○ 防災情報メール (P30)

防災対策などに役立ててもらうため、登録者に避難指示等の緊急かつ重要な防災情報等を電子メールで通知するもの。

ま行

○ マンホールトイレ (P50)

災害用仮設トイレが設置可能な下水道施設のことであり、避難所の屋外に埋設されている。

や行

○ 要配慮者 (P27)

高齢者、障害者、乳幼児等の防災施策において特に配慮を要する者。

ら行

○ ライフサイクルコスト (P40)

公共土木施設において、調査、計画から設計、建設、運用、維持管理、更新、廃棄までの一連の過程を生涯と捉えてライフサイクルと呼び、この期間で必要なすべての費用をライフサイクルコスト (LCC) という。一般には、 $LCC = \text{初期建設費用 (イニシャルコスト)} + \text{維持管理・更新 (廃棄) 費用 (ランニングコスト)}$ で表される。

○ リスクコミュニケーション (P19)

あるリスクについて、関係する当事者全員が情報を共有し、意見や情報の交換を通じて意思の疎通と相互理解を図ること。

○ ローリングストック (P47)

普段の食品を少し多めに買い置きしておき、賞味期限を考えて古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つための方法。

※ 文中で解説されているものは除く